

「夢をもち、いのち輝く朱一の子

～レジリエンス（しなやかで折れない心）の育成～

【本校でつきたい資質・能力】

「人間関係形成力」

「課題解決力」

「回復力」

＜目指す子ども像＞

- ・ あきらめないでねばり強く学ぶ子
- ・ 自分の思いや考えを適切に伝え合う子
- ・ ちがいを認め、助け合える子

＜目指す学校像＞

- ・ 子どもたちが学びたくなる学校
- ・ 教職員が誇りを持てる学校
- ・ 保護者が信頼する学校
- ・ 地域が応援したくなる学校

＜目指す教職員像＞

- ・ 子ども一人一人を徹底的に大切にす教育的愛情と情熱・使命感を持った教職員
- ・ 伝統を守り、変容を見とろうとし、適切にコミュニケーションできる教職員
- ・ 幅広い研修を積み、自らを高めようとする教職員

今日の社会は、急速なグローバル化、情報化そして、少子高齢化といった様々な課題が見られる。現代は、人生100年時代と言われ、超スマート社会（Society5.0）の実現に向けて、人工知能AIやビッグデータの活用などの技術革新が急速に進んでいる。このような激動の時代を豊かに生き、未来を開拓したくましく生き抜いていくために、誰もが人間ならではの感性や創造性を発揮し自らの「可能性」を最大化していくこと、そして、誰もが身につけた力を生かして自分の夢に向かって歩いていくことができる「チャンス」を最大化していくことが求められている。

本校では、子どもたちがこのような社会を取り巻く状況をしっかりと見つめ、子どもたちに、多様化する価値観を踏まえ、自ら考え、協働して解決していく姿勢や力をつけていきたいと考える。そのためには、その土台となる「レジリエンス（しなやかで折れない心）」を育てていきたい。このレジリエンスは、自己肯定感や自己有用感という自尊感情と人間関係力の向上により育成していくことができる。

このような視点を全教職員で共有し、現代の社会で生きぬいていくうえで必要な「生きる力」を育む取組を、地域・保護者とのつながりを大切にしながら実践していきたい。

1 学校教育目標の意味

- * 「夢をもち」・・・「なりたい自分」を思い描き、それに向かってどのような力をつけたらよいかを子ども自身が考え、判断し、あきらめないでこつこつと行動し続ける。
- * 「いのち輝く」・・・自分のいのちもまわりの人のいのちも大切にし、自分の人生をより豊かに主体的に生き抜いていく。

2 学校目標具現化のための本校でつけたい資質・能力

学校教育では、まずは、子どもたちが安心・安全でいのちが守られるようにリスクマネジメントをしっかりとしていかなければならない。だが、最善の対応をしても、それでも、人間関係や様々な状況の中で困難に直面することがある。特に未来不透明な現代社会においては、様々な課題に対してあきらめず乗り越えていくことが必要である。そこで、それぞれの課題に対して、折れることなくしなやかに、たくましく乗り越えていく「レジリエンス」を育成していくことを大切にしていきたい。

このような考えのもと、**本校でつけたい資質・能力は、「人間関係形成力」「課題解決力」「回復力」と設定した。**

レジリエンスを育成していくためには、**自己肯定感・自己有用感という自尊感情や人間関係形成力の向上**が大切である。

人と人とのかかわりの中で、互いにその価値観や生き方の違いを認め合い、自他ともに大切にされていると感じることで、より主体的に生きようとする意欲をもつことができる。さらに、対話を通して他者との協働の中で課題を解決していく力をつけていくことが、将来に向けて自分なりの生き方を模索していく際に大きな力となっていく。

また、人間関係形成力を高めていくことで、安心して思いや考えを出し合い、理解しあうことができ、より深い学びとなる。

さらに、毎日の学習や生活の中で、こつこつと自分のすべきことをやり遂げたり、困難な課題に対してあきらめずに取り組み続けたりしていくことで、より深く、大きく成長していくことができ、自己実現へと向かえるのではないかと考える。

この「レジリエンス（しなやかで折れない心）」というキーワードを大切にしていけるようにしていきたい。

「命、すなわち心と体を大切に子どもを育成できているか」

「困難に直面しても、すぐにあきらめてしまうのではなく、粘り強く取り組めるようなレジリエンスの高い子どもを育成できているか」

「子どもが自分のことを好きだ、よいところがあると感じられるような取組が実践されているか」

「子ども一人一人がまわりの人間関係の中で大切にされているという実感をもてるような場、そして、安心して自分の力を発揮できるような場が設定されているか」

全教職員が絶えず自らに問い続け、子どもの命を守り、育む教育を実践していきたい。